

う ら さ

教育目標 かしく あかるく たくましく



令和7年度
南魚沼市立
浦佐小学校

令和7年4月14日

新年度を迎えましたが、グラウンドには大雪の名残の雪が残っています。でも、土が顔を出した花壇には、春の草花が見られるようになりました。本格的な春に向けて着実に季節が進んでいます。4月8日には1学期の始業式、9日には入学式を無事に行うことができました。

新入生37名を迎え、全校児童230名と教職員の新しい組織で令和7年度の教育活動がスタートしました。重点目標「感謝と思いやりを大切にし、かかわり合いながら共に伸びる子」を目指し、様々なかかわりの中で子どもたちの成長を促し、互いに励まし合ったり高め合ったりしながら、生きる力を育むことができるよう教職員一同心を一つにして、指導・支援に努めて参ります。

子どもたちの学校生活の充実には、保護者・ご家族、地域の皆様の支えが欠かせません。一層のお力添えを心よりお願い申し上げます。

校長 笹岡 正



〈 入学式1年1組 〉



〈 入学式1年2組 〉



〈 新 任 式 〉

「あいさつで思いやりのキャッチボール 頑張る気持ちを大切にチャレンジ！」



春の訪れとともに1年がスタートするこの時期は、気持ちも新たに活気にあふれる時期でもあります。始業式の日には、やる気に満ちた表情で登校してくる子どもたちがたくさんいました。そんな1年のスタートにあたって子どもたちに2つの話をしました。

「挨拶」という言葉の意味を調べてみると、「挨」は「心を開く」、「拶」は「相手に近づく」という意味があるようです。あいさつは、「心を開いて相手に近づく」という意味では、人と人がかかわるための第一歩といえます。また、「おはようございます」は「早くからご苦労様です」と相手をねぎらう意味だったり、「こんにちは」は「今日はお機嫌いかがですか」と相手を気遣ったりする意味でもあります。そんな風にあいさつは、相手を思いやる気持ちのキャッチボールでもあります。自分からあいさつをするのはもちろんのこと、あいさつをしっかりと返すことも大切にしてほしいと思います。

先日、帰宅する車の中でラジオを聞いていると、「『成功』の反対の言葉は何？」という話題がありました。子どもたちに問いかけると、「失敗」という言葉が返ってきました。でも、そのラジオでは「チャレンジしないこと」と言っていました。失敗を恐れたり、やる前から諦めたりしてチャレンジしなければ、決して成功にはつながりません。子どもたちには、今の新鮮でやる気に満ちた気持ちを大切にしてほしいと伝えました。そして、そのやる気でいろいろなことに挑戦し、力をつけてほしいと願っています。

令和7年度が一人一人の子どもたちにとって充実した1年となるよう、子どもたちと共に頑張っていきたいと思います。